

レアカードになろう！

特別講師 藤原和博さん

未来の主役は君たち！



藤原和博さん
1978年、東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。要職を歴任後、1996年同社フェローとなる。2003年杉並区立和田中学校校長となり、キャリア教育の本質を問う『よのなか科』をはじめ、斬新な取り組みを次々進めている。

世の中の仕組みに迫る一斉授業！ 『よのなか科』のエッセンスをおすそわけ

藤原和博さんの一斉授業は、会場の雰囲気づくりから。「メリハリをつけて」「講師とアイコンタクトをしながら」「常識を離れて考えよう」と、授業を成功させるコツを伝授しながら、自由に意見を言い合える雰囲気をつくり上げます。

授業の手法はブレインストーミング。テーマに沿って自由奔放なアイデアをどんどん出し合い、それらの案を足し合わせたり変化させたりしながら、新しい発想を導き出す手法です。

藤原さんは授業を進めながら生徒の頭をどんどん柔らかくしつつ、未来の生き方につながるメッセージを伝えてくれました。

ひとつは、「大人が築いてきた過去の常識を疑い、新しい発想と行動力で、君たちが新しい時代を作り上げていくのだ」ということ。そしてもうひとつ。子どもが大好きなカードゲームを引き合いに『レアカード（希少で重要なカード）』という言葉を用い、「他に代わりがない、この人でなければいけないと言われるような力を磨いていこう」と語りかけました。

Q「風が吹くと桶屋がもうかる」の現代版は？

世の中はつながっていて、思いがけない所に影響が出るという意味のことわざ

- ①風が吹く→②ほこりが舞う→③砂が目に入る→④ばい菌が目に入り眼病になる→⑤失明する人が増える→⑥三味線引きを職業とする人が増える→⑦猫の皮がたくさん必要→⑧猫が減る→⑨ねずみが増える→⑩ねずみが桶をかじる→⑪桶屋がもうかる



現代版を考えよう！
生徒たちからはこんな意見が出ました

- ①風が吹く→②スカートがめくれる→③ズボンが流行する→④ズボンのメーカーがもうかる
- ①風が吹く→②飛行機が飛ばなくなる→③家に帰れない人が増える→④ホテルがもうかる

時代を先取りしよう！

一斉授業で出された課題です。みなさんも考えてみてください。

Q 喪服はなぜ黒？

常識を疑おう！

こんな意見が出ました
「自身の沈んだ気持ちを表現するため」「死後の世界を表す色として黒が選ばれるようになった」
「葬儀の主役は亡くなられた方なので、参列者は目立たない影として黒い服を着る」などなど…。果たして正解は？

実は江戸時代まで喪服は白だった。しかし明治維新後の近代化の中、「諸外国の喪服は黒らしい」ということで、日本でも喪服は黒が常識となっていた。
さらに言うと、奈良時代の喪服は黒、平安初期より以前は白と、変遷を繰り返してきた。つまり、いまの常識が全てではないということ。もしかしたら将来、もっと斬新な色の喪服が常識になる日がくるかもしれない。



藤原さんのお話に興味を持った方は、こちらのサイトをぜひどうぞ！
HP <http://www.yononaka.net/>



それ面白い！

こんなアイデアはどうか？



夢見るチカラ、ぐんぐん伸びる

香美市ではキャリア教育に力を入れています。これは、さまざまな学習や体験、人との触れ合いを通して、生き方について考える取り組みです。

さまざまな職業と、そこで働く大人たち。自分を成長させるための、これからの生き方。

→ キャリアチャレンジデイ

10月31日に、高知工科大学で開催されたキャリアチャレンジデイは2部構成。藤原和博さんによる『よのなか科』一斉授業と、さまざまな職種22団体によるスペシャルトークセッションです。

子どもたちをアシスト！

キャリアチャレンジデイ 参加団体

ねぎ農家 / 香美森林組合 / 聖建築研究所 / 菅公学生服株式会社 / 株式会社オルタステクノロジー / 四国電力株式会社 / 株式会社テレビ高知 / 株式会社高知新聞社 / 日本航空株式会社 / 株式会社土佐山田ショッピングセンター / 株式会社佐田銀行 / スタジオハンズ / 高知理容美容専門学校・ようこ美容室 / 株式会社テラムラ / 県立山田高等学校 / 公立大学法人高知工科大学 / 高知中央高等学校 / 香美市立新改保育園 / 社会福祉法人土佐香美福祉会 / 香美警察署 / 自衛隊高知地方協力本部 / 財団法人国際協力機構(JICA) ※順不同



①プロの裁縫技術を習っていきチャレンジ！②最新のテクノロジーに「ほお〜」③仕事のやりがいや苦勞を直接聞けるまたとない機会④紙幣を数える機械などを体験…働いてはどういうことだろう

